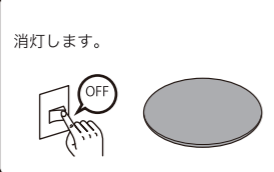


明かりをつける

壁スイッチで操作する

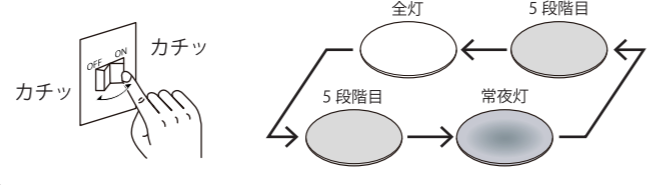
■壁スイッチで明かりをつける

壁スイッチ ON：点灯（ラストメモリー）
壁スイッチを切る前の明かりを再現します。
※点灯と消灯の時間が30秒未満のときは機能しません。



■壁スイッチで点灯状態を切り替える

壁スイッチを ON にした状態で、短く（3秒以内）スイッチを操作することで、点灯状態を切り替えることができます。



⚠ 壁スイッチを ON にしても点灯しない場合は、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで点灯してください。

リモコンで操作する

①壁スイッチを「ON」にする



②リモコンを本体に向けてボタンを操作する

切/入ボタン

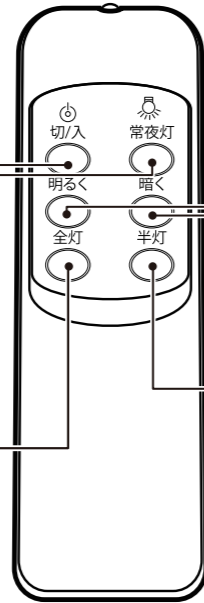
リモコンで消灯させる前の明かりを点灯させたり、消灯させたりします。

常夜灯ボタン

常夜灯を点灯させます。消灯させるときは、切/入ボタンを押します。

全灯ボタン

レベル MAX の明かりで点灯します。



シーリングライトの明るさを調節します。
※調光 10 段階（常夜灯を含む）

調光ボタン [明]

明かりを 1 段階明るくします。

調光ボタン [暗]

明かりを 1 段階暗くします。

調光ボタン [暗]

レベル 5 の明かりで点灯します。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が発生した場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
リモコンで照明器具	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチが OFF になっている。	壁スイッチを ON にしてください。
壁スイッチを ON にしても点灯しない	照明器具が「消灯」状態になっている。	「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。
操作していないのに明かりがついたり、変わったりする	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがある。	ご使用にならない時は、壁スイッチを OFF にしてください。 「壁スイッチで操作する」を参照し、壁スイッチを短く（3秒以内）操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチを ON にしてリモコンで切り替えてください。

⚠ **警告** ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

※LED モジュールの設計寿命は 40,000 時間です。LED が点灯しなくなるか、光束が 70% に低下するまでのいずれか短い時間を推測したもので、製品の寿命は保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

品番	消費電力	器具光束	定格電源電圧	定格電源周波数	待機電力	サイズ	質量
KCL-06J	35W	3699lm（最大点灯時）	AC100V	50/60Hz	0.5W	φ約 45.0×H(高さ)10.5cm	約 1.15kg

LED シーリングライト KCL-06J

この度は、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ販売店からお受け取りください。

保管用

●使用環境：一般屋内

この商品は、海外では
ご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

安全上の注意

安全にご使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

⚠ 警告や注意を示す記号です。

⊘ 禁止を示す記号です。

❗ 必ず行うことを示す記号です。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⊘	改造や部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。	❗	LED 光源を直視しない 目を傷つける原因になることがあります。
	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。		点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になります。
❗	可燃物で覆わない 可燃物を被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。	⊘	破損した場合は使用しない。 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理を依頼してください。
	取り付けできない天井・配線器具に取り付けない 「取り付けできない天井・配線器具」に記載された場所や配線器具には取り付けしないでください。落下・火災などの原因になります。（配線器具の交換は電気工事の資格が必要です）		温度の高い場所で使用しない。 火災の原因になります。
❗	取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書に従い確実に取り付けてください。	⊘	屋外や湿気が多い場所で使用しない 故障や感電の原因になります。
	異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。		水洗いをしない 火災・感電の原因になります。 「お手入れについて」を参照し、水につけたり、水をかけたりしないで清掃してください。
	交流 100V で使用する 火災・感電の恐れがありますので、定格電圧以外では使用しないでください。		薬品を使用しない 変形・火災の原因になります。 殺虫剤、カビ取り剤などをかけないでください。
	清掃・取り付け・取り出しの際は必ず電源を切る 感電の原因になります。		1年に一回は自主点検を実施する 長期間の使用による発煙・発火・感電などの事故を防ぐため、別紙保証書の「チェックシート」を参照し、定期点検を実施してください。 設置後 8 年～10 年経つと、自然に内部劣化が進みます。

ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらないことがあります。
- 付属のリモコンは本照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器（テレビ等）には使用できません。
- 点灯直後や明るさを切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴している時は、本照明器具のリモコンが操作しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが操作しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス機器はなるべく照明器具から離して使用してください。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約1Wの電源を消費しています。長時間使用しない場合は、壁スイッチを切ってください。
- LED 照明は、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面でも光むらが出る場合があります。
- 本照明器具は、LED 光源が内部に組み込まれているため、LED 光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せずにごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 充電電池をリモコンに使用しないでください。操作できないことがあります。
- エアコン吹き出し口近くへ設置など、温度が高くなる機器の近くに設置しないでください。また、真下にストーブやコンロなどの発熱機器、温度が高くなる機器を設置しないでください。故障の原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射めんを見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

【ご質問・修理依頼・部品のご注文等は下記のお電話番号にお問い合わせください】

発売元

株式会社 KOM

〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 3-4-4

サービスセンター

TEL：0120-05-1783

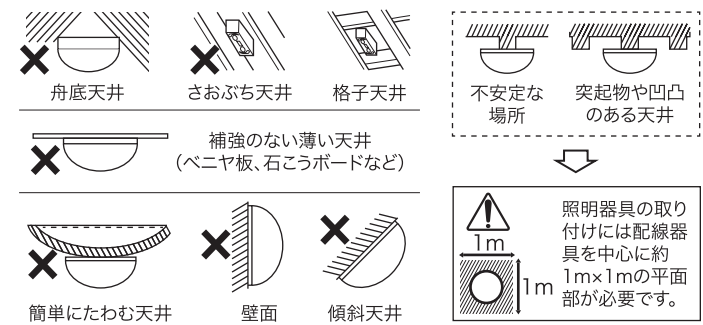
※受付時間：9：00～17：00（土・日祝日除く）

Eメール：info@kom408.com

取り付けできない天井・配線器具

次のような場所には取り付けない

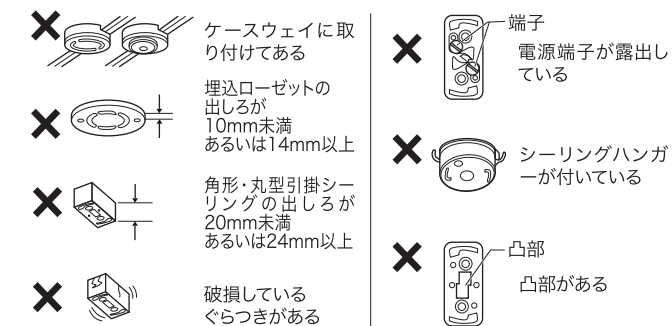
本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。

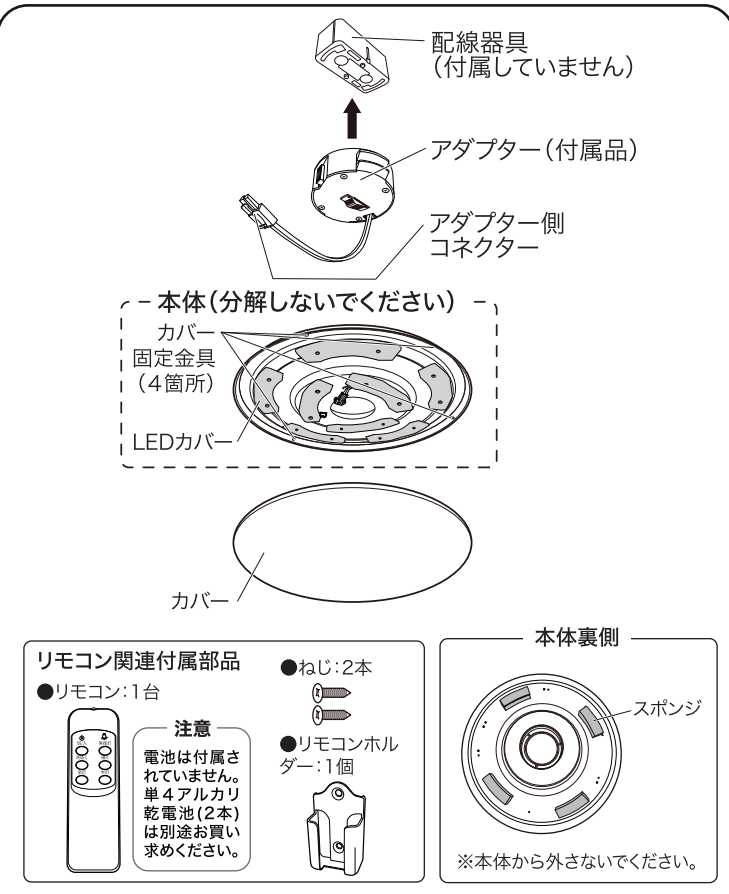
次のような配線器具には取り付けない

火災や感電・落下によるけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事に依頼してください。(配線器具の交換は資格が必要です)



各部の名称

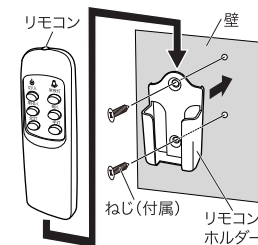
●組み立てる前に下記の部品が揃っていることを確かめください。
●表記以外の部材は梱包材です。



リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。

※収納した状態で操作しないでください。

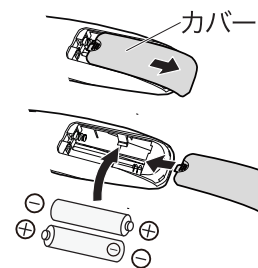


リモコン収納のしかた

①矢印の方向にカバーを動かす。

②表示に合わせて+を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める

- 電池を交換する時は、2本とも新品の単4アルカリ乾電池に交換してください。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しない時は、電池を取り出して保管してください。
- 電池は付属されていません。単4アルカリ乾電池(2本)は別途お買い求めください。

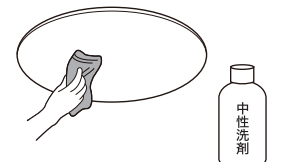


お手入れについて

照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため定期的に清掃することをお勧めします。

注意
●必ず壁スイッチをOFF(切)にするか、電源を遮断してください。感電事故の原因になります。
●消灯直後は本体が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。

- ①水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る
- ②汚れ落ちを確認後、洗剤を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。
- ③仕上げに乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る



- リモコンの送信部は、乾いた柔らかい布で定期的に汚れを拭き取ってください。汚れるとリモコンでの操作がしにくくなります。



注意 絶対に、水をかけたり、水につけたり洗ったりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

本体、アダプターの取り付け

警告 取り付けは必ず壁スイッチをOFFにする。またはブレーカーで電源を遮断してから行ってください。

1.天井に付いている配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の寸法を確認する

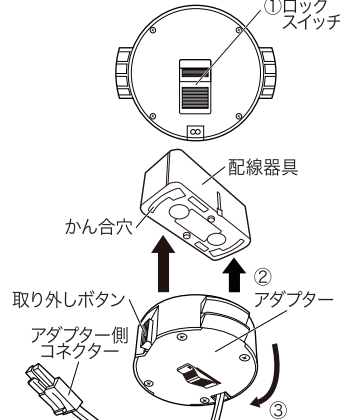
注意 高所での作業になります。必ず足元の安全を確認してから行ってください。

※下図以外の配線器具、または配線器具がなく配線だけの場合は取り付けができません。電気店、または工事に依頼してください。
※資格のない方の工事は法律で禁止されています。

天井からの出しる	20mm以上24mm未満	10mm以上14mm未満
形状	角形引掛シーリング 丸形引掛シーリング・ローゼット	埋込引掛ローゼット
側面図	天井からの出しる配線器具	天井からの出しる配線器具
形状	角形引掛シーリング 丸形引掛シーリング 丸形引掛ローゼット	埋込引掛ローゼット(耳なし) 埋込ローゼット(耳なし)
注意	※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、ねじを外してから照明器具を取り付けてください。	

2.アダプターを取り付ける

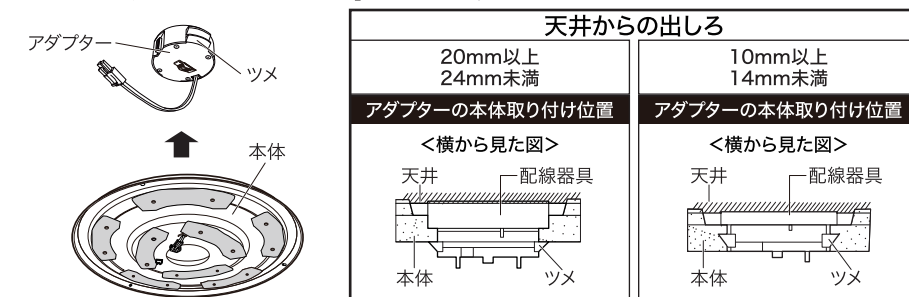
- ①アダプターのロックスイッチのロックを解除してください。
- ②配線器具のかん合穴にアダプターの引掛け金具を差し込んでください。
- ③アダプターを右に「カチッ」と音が出るまで回してください。
- ④アダプターを取り付けた後、取り外しボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。



警告 アダプターは確実に取り付けてください。落下するおそれがあります。

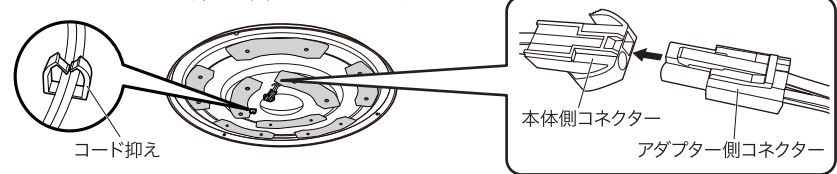
3.本体を取り付ける

- ①本体をアダプターのツメに「カチッ」と音がするまで押し上げてください。そして、ロックスイッチで「ロック」してください。



警告
●配線器具(引掛シーリング・ローゼット)の出しるによってアダプターの本体取り付け位置が異なります。本体をアダプターのツメに「カチッ」と音がするまで確実に押し上げてください。落下によるけがのおそれがあります。
●ロックスイッチを必ずロック位置にしてください。落下によるけがのおそれがあります。

- ②コネクターを接続する
アダプター側コネクターと本体側コネクターを差し込んでください。そして、アダプター側コネクターをコード抑えで固定してください。

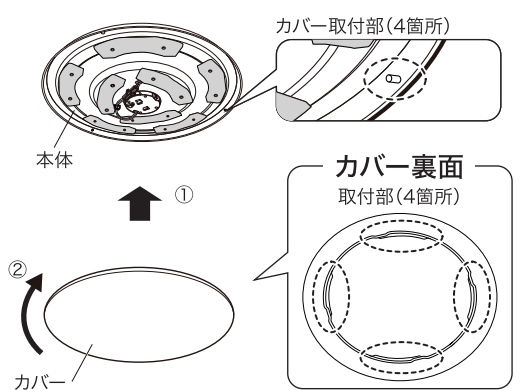


※本体が下図の状態の場合は正しく取り付けられていないため、もう一度確認してください。



4.カバーを取り付ける

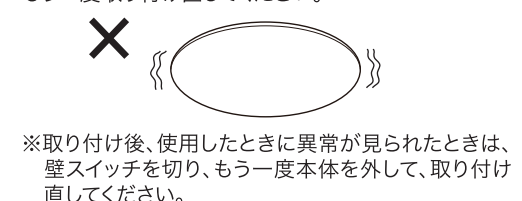
カバー裏面の取付部と、本体のカバー固定金具の位置を合わせ、カバーを時計回りに回転が止まるまで回して確実に取り付けてください。



警告 カバーを必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットも回転し、破損や断線の原因になります。

注意 カバーは回転が止まるまで確実に回して取り付けてください。落下によるけがの恐れがあります。

本体がぐらついたり、傾いたりしているときは正しく取り付けられていません。もう一度取り付け直してください。

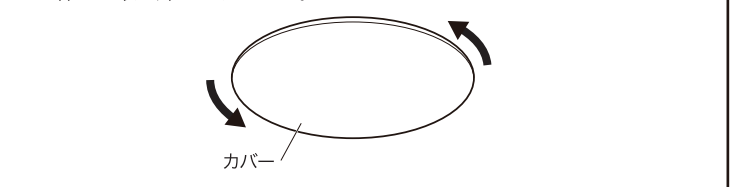


本体、アダプターの取り外し

警告
●取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
●消灯直後は本体が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

1.カバーを取り外す

本体を手で支えながらカバーの外周部を持って、反時計回りに回して本体から取り外してください。



2.コネクターを外す

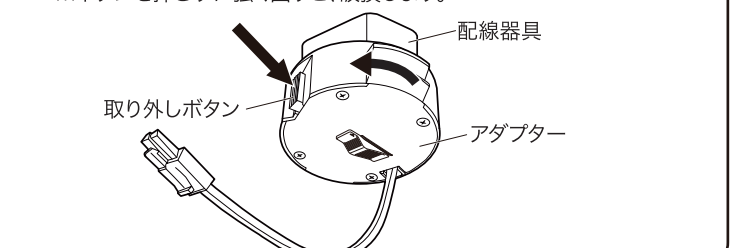
アダプター側のコネクターのツメを押しながら、本体側コネクターから引いて外してください。

3.本体を外す

本体を支えながらアダプターのロックスイッチのロックを解除して本体を取り外してください。

4.アダプターを外す

アダプターの側面にある赤い取り外しボタンを押しながら、アダプターを左に回して外してください。
※ボタンを押さずに強く回すと、破損します。



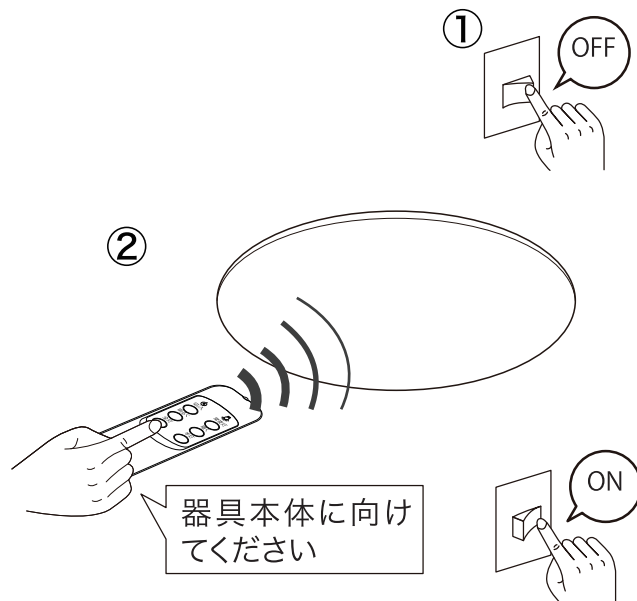
ペアリング方法

複数のシーリングライト(KCL-06J)を一つのリモコンで操作するときや、リモコンで操作しても作動しないときに、下記の手順をお試しください。

【壁スイッチがあるお部屋に設置する場合】

- ①壁スイッチをOFFにします。
- ②全灯ボタンを押し続けた状態で、リモコンをシーリングライトに向け、壁スイッチをONにします。
- ③約3秒経過すると、ライトが一度だけ点滅し、ペアリングが完了します。
- ④最後に全灯ボタンから指を離します。

※こちらの手順でペアリングできないときは、次項をお試しください。



【壁スイッチがないお部屋に設置する場合】

- ①カバーを取り外します。
- ②本体とアダプタのコネクタを外します。
- ③全灯ボタンを押し続けた状態で、リモコンをシーリングライトに向け、本体とアダプターのコネクタを差し込みます。
- ④約3秒経過すると、ライトが一度だけ点滅し、ペアリングが完了します。
- ⑤最後に全灯ボタンから指を離します。

※こちらの手順でペアリングをおこなう際は、2名での実施を推奨します。

《共通の注意点》

※全灯ボタンはペアリング完了まで押し続けてください。
途中で指を離すとペアリングが出来ません。

